P－A－6）水頭症で発症した Lhermitte-Duclos 症候群を伴った Cowden 病の1例

渡辺 剛助・田中 徳彦
三森 研自・桜木 貢
本宮 峯生・中川 端午（北海道脳神経外科記念病院）
藤岡 保範（北海道大学第二病理）
入江 達朗（愛育病院）

Cowden 病は，多発性丘疹，口腔粘膜の乳頭腫症を主病変とし，全身多臓器の過誤腫様の過形成や悪性腫瘍を伴う，稀な常染色体優性遺伝病である．又，小脳に過誤腫様の過形成を示す Lhermitte-Duclos 症候群は Cowden 病に高頻度に合併していることが指摘されている．症例は28歳女性．15歳時，乳房巨大線維腺腫摘出術施行．17歳時，精神分裂様症状出現．25歳時，甲状腺腫脹出現，精査の経過で消化管ポリポーシスを認め，病理学的に Cowden 病の診断を得て，経過観察中であった．なお現症として，単純肥満，多発性丘疹を認めた．

27歳時，頭痛精査の頭部 CT にて水頭症を認めた．神経学的陽性所見を認めず．MRI は T1 mild Low．T2 mild High．辺縁整，enhanced されない，葉状の heterogeneous な mass を左小脳半球全域に認めた．減圧を目的とした腫瘍摘出術施行し，病理学的に Lhermitte-Duclos 症候群の診断を得た．今回，まれな合併例を経験したので文献的考察を加え報告する．

P－A－7）興味ある画像所見を呈した Heterotopic Gray Matter の1例

刈部 博・白根 礼造（東北大学脳研脳神経外科）
吉本 高志

症例は16歳の女性．夜尿，無月経を主訴として来院した．来院時所見では Medican Cleft，Palate Cleft，Hyperterolism を認めた他は神経学的にも正常で，泌尿器科学的，婦人科学的にも異常は認められなかった．しかし頭部，顔面の精査目的で施行された CT，MRI では，脳梁形成不全，Ethmoidal Encephalocele，Microgyria 等の脳形成異常と第3脳室前半部を占拠する円形の mass leision が認められた．この病変は画像診断上，灰白質と同等の density/intensity を有しており，腫瘍性病変を疑って精査を行ったが，proton MRS で正常脳組織と同等のパターンを示したことから，Heterotopic Gray Matter と診断した．本症例の興味深い画像を呈示するとともに，病変の性状診断における proton MRS の有効性について考察する．

P－A－8）脳血管撮影で増大を認めた内側レンズ核線条体動脈瘤の1手術

仲野 雅幸・柳沢 俊晴
紺野 豊・高橋 秀和
小鹿内博之・笹沼 仁一（（財）脳神経疾患研究所附属南東北病院脳神経外科）
後藤 博美・小泉 仁一
後藤 恒夫・渡辺 一夫

症例は36歳男性．高血圧症の既往はない．突然の頭痛で発症し，外来を受診．神経学的異常を認めなかったが CT 上脳室内出血を伴う尾状核体部出血を認め，脳血管撮影で内側レンズ核線条体動脈に直径 5 mm の saccular aneurysm を認めた．発症2週後の脳血管写で動脈瘤の増大を認めたため，摘出術を施行した．手術では，脳梁の損傷を避けるために cingulate sulcus を経由して側脳室に入った．尾状核体部の血腫が透見され，血腫腔内で動脈瘤を確認し，これを摘出した．術後経過は良好であった．病理組織学的には berry aneurysm であった．

尾状核出血や脳室内出血を呈した症例では，本例のように穿通枝の動脈瘤が出血源となっている場合もある．比較的稀な症例と考えられ，文献的考察を加えて報告する．

P－A－9）側副血行路に発生した多発動脈瘤の1例

南出 尚人・染矢 滋（氷見市民病院脳神経外科）

症例は79歳男性で後頭部痛，右外転神経麻痺にて発症した．CT にて左橋槽に強い SAH を認めた．脳血管写では左椎骨動脈が後下小脳動脈分岐後に閉塞しており脳底動脈は前脊髄動脈を介した側副血行路にて造影されていた．前脊髄動脈と脳底動脈の合流部に動脈瘤を認めた．右椎骨動脈は筋枝で終っていた．発症3週間後に行った血管写では動脈瘤の縮小を認め，この側副血行路の別の部位に動脈瘤の新生を認めた．高齢，イレウスおよび肺炎の合併，動脈瘤の縮小，さらに側副血行路に対する侵襲を考慮し直達手術やバイパス手術を断念し，水頭症に対してのみ VP シャントを施行した．発症6カ月後では以前より認めた動脈瘤は不変であり，新生した動脈瘤の増大を認めた．

（結語）1．前脊髄動脈を介した側副血行路に発生した動脈瘤からの SAH は稀であり報告した．2．本来脆弱な側副血行路が，閉塞した主幹動脈のバイパスとしての役割を果たすうえに長年の高血圧症という二重の負荷を